

にかほのグリーン・ツーリズム 始まるよ!



ことしの6月18日、市内の関係団体や自治会、実践者30名を会員とする「にかほグリーン・ツーリズム推進協議会」が設立され、にかほ市のグリーン・ツーリズム事業がスタートしました。

8月には早速、モデル事業として市内の小学生による農業体験、東京の子どもたちによる田舎体験がそれぞれ行われました。まだまだ課題はあるものの、受け入れをした集落、農家、参加した子どもたちからは、上々の感触を得ることができました。

■真夏の太陽の下、野菜を収穫する子どもたちの笑顔と、それを見つめる農家の誇らしげな顔から、今後の展開へのヒントが見えたようです。

にかほグリーン・ツーリズム推進協議会

【協議会の目的】
にかほ市における自然、文化、人々の都市との交流を促進して地域の活性化を図るとともに、地元農林水産物の消費拡大を推進して、本市の農山漁村地域の活性化に資すること。

【平成22年度事業計画】
1 啓発普及と情報の受発信、PR活動を強化
2 地域内の意識醸成（地域への説明会等）
3 魅力ある資源を再発見し、それらを生かす取り組みを検討
4 魅力的な体験・交流プログラムの整備
5 継続可能な交流や受け入れ態勢の検討
6 受け入れ希望者の募集、研修等を実施



▲集落の歴史・文化を知る



▶そば打ちに興味津々

次のページで紹介する今夏の2事業を検証し、体験側・受け入れ側、双方が楽しめる、魅力あるメニューの確立と、リーダーの育成を進め、グリーン・ツーリズムの発展を目指します。集落単位の研修会など、今後も随時実施する予定です。

●にかほのグリーン・ツーリズムに関する問い合わせは：
農林水産課農業農村振興班
☎38・4303

◀収穫の喜びを
農家の方とともに



平成22年度のモデル事業

初めての農業体験 in 横岡

8月2日と3日、市内の小学4～6年生を対象に1泊2日の農業体験を実施しました。

横岡地区では、集落ぐるみの取り組みを目標に、昨年度から本郷・小滝地区と合同で研修会に参加するなど、受け入れ準備を進めてきました。

参加者 横岡地区農家7軒、体験小学生21名、横岡地区子ども会16名

実施内容 ▽2日：野菜収穫体験、そば打ち体験、笹巻き作り体験、収穫野菜の夕食、農家民泊
▽3日：横岡地区資源観察学習、昼食、修了式

集落の農家と子ども、体験者（市内の小学生）が一緒に行動し、一体感を感じられることを目標に、野菜の収穫では、農家と一緒に収穫すること、食べる量を考え、必要以上に収穫しないことなど、ルールを設定しました。

農業の生産現場を体験し、食の大切さを学びました。

3日の資源観察学習では、横岡地区の史跡などを廻って、地域の方々も触れることが少ない地域の歴史などを学びました。

【受け入れ農家などの声】

- 全体スケジュール
初めてにしては全体的によかった
- 余裕があつて、子どもたちにも農家側にも適当だった
- 収穫体験
楽しく野菜を収穫する姿を見られてよかった
- 実際に土に触れて、収穫する体験は非常に貴重だった
- そば打ち体験
指導する方々が、大変優しく子どもたちと接していた
- 子どもたちの好奇心に満ちた表情に感動した
- 笹巻き体験
めったに体験できないこと・子どもたちにはちよつと難しかった
- 資源観察学習
身近な所にさまざまな歴史やいわれがあることに、改めて気づかされた

2010いなか体験 in にかほ

触れてみよう！
時間と心と本物に！！
心揺さぶる体験を！

8月18日～20日、東京都港区芝浦港南地区の小学4～6年生を対象に、2泊3日の田舎体験を実施しました。

芝浦港南地区は、白瀬南極探検隊出航の地で、100周年の記念事業に合わせ、交流の準備を進めてきました。今年度の秋田県双方向交流プロジェクト事業・交流の芽支援事業として、新たな交流が始まりました。

参加者 横岡地区農家、体験小学生16名、横岡地区子ども会16名
実施内容 ▽18日：キャンプファイヤー、星空観察

▼ブナの天然林に癒される



【体験者の声】
港区芝浦港南地区総合支所 協働推進課長 白井隆司さん
今回は初めてのため、こちらから盛りだくさんのメニューをお願いしました。野菜の収穫に胸が躍り、星空には圧倒され、ブナの天然林に心身ともに癒されました。

今後は、農業体験や自然観察など、それぞれに特化したメニューもよいでしょう。
来年も、子どもたちを連れて来たいと思っています。